

産業廃棄物処理計画書

令和 8 年 1 月 30 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県上越市福田町1

氏名 エムイーシーテクノ株式会社
直江津事業所長 前川 裕三

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 025-545-4314

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	エムイーシーテクノ株式会社 直江津事業所
事業場の所在地	新潟県上越市福田町1
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D06 建設業 総合工事業
②事業の規模	10億
③従業員数	41人
④産業廃棄物の一の処理の工程	工場の建設・解体工事にて発生⇒収集・運搬(委託)⇒①～③ ①中間処理(委託)⇒再生⇒リサイクル ②中間処理(委託)⇒最終処分(埋立) ③最終処分(委託) (処分の例) ・がれき類→処分業者へ委託して再生砕石として利用 ・木くず→処分業者へ委託してチップ化し、燃料として利用 ・廃プラ→処分業者へ委託してRPFとして利用または、埋立処分 ・ガラスくず等→処分業者へ委託して破碎路盤材へ利用または埋立処分 ・建設混合廃棄物→処分業者へ委託して選別、再生利用または埋立処分 ・建設汚泥→処分業者へ委託して、砂・改良土として再利用

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

事業所長:廃棄物に関する各種事項の決定、承認

安全環境品質グループ:契約書類・マニフェストのチェック及び監督官庁への各種報告

工事担当者または安全環境品質グループ:マニフェスト発行・照合、産廃処理委託契約

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	アスファルト コンクリート破片	ガラスくず コンクリートくず 陶器くず	ガラスウール	ばいじん	安定型建設 混合廃棄物	管理型建設 混合廃棄物	石綿含有産 業廃棄物	汚泥 (泥状のもの)
	排出量	5.03 t	2.09 t	1.32 t	0.45 t	5.13 t	4.89 t	1.39 t	2.04 t
②計画	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光灯	紙くず	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず		
	排出量	3,509.87 t	0.05 t	0.57 t	0.24 t	6.63 t	2.05 t		
(これまでに実施した取組)									
分別の徹底を行い、混合廃棄物の排出を削減。									
【目標】									
①現状	産業廃棄物の種類	アスファルト コンクリート破片	ガラスくず コンクリートくず	ガラスウール	ばいじん	安定型建設 混合廃棄物	管理型建設 混合廃棄物	石綿含有産 業廃棄物	汚泥 (泥状のもの)
	排出量	5.00 t	2.00 t	1.00 t	0.40 t	5.00 t	3.00 t	1.00 t	2.00 t
②計画	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光灯	紙くず	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず		
	排出量	0.00 t	3,000.00 t	0.03 t	0.50 t	5.00 t	2.00 t		
(今後実施する予定の計画)									
これまでの取組を継続する。									

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)								
	アスファルト・コンクリート破片、ガラスくず、ガラスウール、ばいじん、建設混合廃棄物、石綿含有産業廃棄物汚泥、鉄くず、蛍光灯、紙くず、廃アルカリ、廃プラスチック、木くず。再資源化を促進する様分別を徹底する。								
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)								
	これまでの取組を継続する。								

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	アスファルト コンクリート破片	ガラスくず コンクリートくず	ガラスカール	ばいじん	安定型建設 混合廃棄物	管理型建設 混合廃棄物	石綿含有産 業廃棄物	汚泥 (泥状のも)
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
②計画	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光灯	紙くず	廃アルカリ	廃プラスチック 類	木くず		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
(これまでに実施した取組)									
実施なし									
【目標】									
①現状	産業廃棄物の種類	アスファルト コンクリート破片	ガラスくず コンクリートくず	ガラスカール	ばいじん	安定型建設 混合廃棄物	管理型建設 混合廃棄物	石綿含有産 業廃棄物	汚泥 (泥状のも)
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量								
②計画	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光灯	紙くず	廃アルカリ	廃プラスチック 類	木くず		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量								
(今後実施する予定の計画)									
実施予定なし									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	アスファルト コンクリート破片	ガラスくず コンクリートくず	ガラスカール	ばいじん	安定型建設 混合廃棄物	管理型建設 混合廃棄物	石綿含有産 業廃棄物	汚泥 (泥状のも)
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
②計画	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の 量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光灯	紙くず	廃アルカリ	廃プラスチック 類	木くず		
①現状	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の 量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
(これまでに実施した取組)									
実施無し									
【目標】									
①現状	産業廃棄物の種類	アスファルト コンクリート破片	ガラスくず コンクリートくず	ガラスカール	ばいじん	安定型建設 混合廃棄物	管理型建設 混合廃棄物	石綿含有産 業廃棄物	汚泥 (泥状のも)
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量								
②計画	自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の 量								
	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光灯	紙くず	廃アルカリ	廃プラスチック 類	木くず		
①現状	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の 量								
(今後実施する予定の計画)									
実施予定なし									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	アスファルト コンクリート破片	ガラスくず コンクリートくず	グラスカール	ばいじん	安定型建設 混合廃棄物	管理型建設 混合廃棄物	石綿含有産 業廃棄物	汚泥 (泥状のも)
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
② 計画	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光灯	紙くず	廃アルカリ	廃プラスチック 類	木くず		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
(これまでに実施した取組)									
実施なし									
【目標】									
① 現状	産業廃棄物の種類	アスファルト コンクリート破片	ガラスくず コンクリートくず	グラスカール	ばいじん	安定型建設 混合廃棄物	管理型建設 混合廃棄物	石綿含有産 業廃棄物	汚泥 (泥状のも)
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量								
② 計画	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光灯	紙くず	廃アルカリ	廃プラスチック 類	木くず		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量								
(今後実施する予定の計画)									
実施予定なし									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	アスファルト コンクリート破片	ガラスくず コンクリートくず	グラスカール	ばいじん	安定型建設 混合廃棄物	管理型建設 混合廃棄物	石綿含有産 業廃棄物	汚泥 (泥状のも)
	全処理委託量	5.03 t	2.09 t	1.32 t	0.45 t	5.13 t	4.89 t	1.39 t	2.04 t
② 計画	優良認定処理業者 への処理委託量	5.03 t	2.09 t	1.32 t	0.45 t	5.13 t	4.89 t	1.39 t	2.04 t
	再生利用業者 への処理委託量								
① 現状	認定熱回収業者 への処理委託量								
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行 業者への処理委託								
② 計画	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光灯	紙くず	廃アルカリ	廃プラスチック 類	木くず		
	全処理委託量	4.95 t	3,509.87 t	0.05 t	0.57 t	0.24 t	18.29 t	6.63 t	2.05 t
① 現状	優良認定処理業者 への処理委託量	4.95 t	3,509.87 t	0.05 t	0.57 t	0.24 t	18.29 t	6.63 t	2.05 t
	再生利用業者 への処理委託量								
② 計画	認定熱回収業者 への処理委託量								
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行 業者への処理委託								
(これまでに実施した取組)									
可能な限り優良認定処理業者へ委託する									

② 計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト コンクリート破片	ガラスくず コンクリートくず	ガラス丸	ばいじん	安定型建設 混合廃棄物	管理型建設 混合廃棄物	石綿含有産 業廃棄物	汚泥 (泥状のも
	全処理委託量	5.00 t	2.00 t	1.00 t	0.40 t	5.00 t	3.00 t	1.00 t	2.00 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	5.00 t	2.00 t	1.00 t	0.40 t	5.00 t	3.00 t	1.00 t	2.00 t
	再生利用業者 への処理委託量								
	認定熱回収業者 への処理委託量								
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行 業者への処理委託								
	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光灯	紙くず	廃アルカリ	廃プラスチック 類	木くず		
	全処理委託量	0.00 t	3,000.00 t	0.03 t	0.50 t	0.00 t	0.00 t	5.00 t	2.00 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.00 t	3,000.00 t	0.03 t	0.50 t	0.00 t	0.00 t	5.00 t	2.00 t
	再生利用業者 への処理委託量								
	認定熱回収業者 への処理委託量								
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行 業者への処理委託								
(今後実施する予定の取組)									
<p>分別を徹底し、混合廃棄物の量を削減する。 全数優良認定処理業者へ委託する取組を行う。</p>									
※事務処理欄									